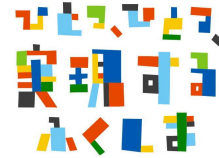


# 主要な農作物の生育情報

令和3年度 第3号

(令和3年6月8日)

福島県農林水産部農業振興課



## 【作物】

### 1 水稲

6月1日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈は本部（郡山市）が長く、会津地域（会津坂下町）が短く、浜地域（相馬市）が平年並から長くなっています。茎数は、各地域とも少なくなっています。主稈葉数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっています。

表1 農業総合センターにおける水稲の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月・日)	6月1日調査		
			草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈葉数 (枚)
本 部	コシヒカリ	5.14	26.2 (109%)	119 (72%)	5.0 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.14	24.9 (114%)	119 (67%)	5.3 (-0.1)
会津地域	コシヒカリ	5.20	22.6 (91%)	86 (85%)	5.0 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.20	21.7 (91%)	83 (76%)	5.0 (-0.2)
浜 地 域	コシヒカリ	5.10	28.7 (106%)	148 (69%)	5.3 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.10	25.9 (101%)	166 (68%)	5.3 (-0.2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域が会津坂下町、浜地域が相馬市。

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2016~2020年の平均値)との比較を表す。

### 2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、平年並から早くなりました（平年差-6日から+1日）。登熟は順調に進んでいます。

## 【野菜】

### 1 夏秋きゅうり

県中地方では、露地栽培の定植が5月中旬から下旬にかけて行われています。県北地方では、雨よけ栽培の定植が5月下旬から7月上旬にかけて行われています。どちらの産地でも、生育は平年並ですが、一部のほ場でアブラムシ類の発生が見られており、防除の徹底を図っています。

### 2 トマト

県南地方では、ハウス栽培の定植が4月下旬から行われ、現在、第1果房の着果が始まっています。南会津地方では、雨よけ栽培の定植が5月下旬から6月上旬にかけて行われています。定植時期の5月下旬には強風により活着がやや遅れたものの、現在では順調に生育しています。

### 3 さやいんげん

県中地方では、露地栽培の定植が5月中旬から行われています。播種が平年より15日程早かったことから、生育は平年より進んでいます。病害虫は、アブラムシ類、アザミウマ類の発生が散見されますが、被害拡大には至っていません。

### 4 ピーマン

県中地方では、トンネル栽培の定植が4月下旬から、露地栽培の定植が5月中旬から行われています。トンネル栽培では、4月下旬の降霜により一部のほ場で被害がありましたが、植え替えや整枝方法の変更等により草勢は回復しつつあります。

## 5 春ブロッコリー

相双地方では、定植が3月中旬から行われ順調に生育し、収穫は6月上旬にピークをむかえています。

## 【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月1日現在の生育概況）

### 1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が41.6mmで平年比117%、側径が36.6mmで平年比129%、「ゆうぞら」は縦径が41.7mmで平年比117%、側径が33.8mmで平年比128%と、両品種とも平年より大きい状況です。

また、「あかつき」における硬核期開始は、5月31日で平年より9日早くなりました。

### 2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が25.5mmで平年比115%、横径が29.7mmで平年比119%と平年より大きく、「豊水」は縦径が27.7mmで平年比115%、横径が30.4mmで平年比121%と平年よりやや大きい状況です。

### 3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が36.6mmで平年比120%、横径が37.3mmで平年比120%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が35.0mmで平年比124%、横径が34.2mmで平年比131%と平年より大きい状況です。

### 4 病害虫の発生

モモせん孔細菌病、なし黒星病の発生が確認されるため、病害虫発生予察情報注意報や果樹情報特別号を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

## 【花 き】

### 1 キク類

8月咲きの定植は平年並の4月下旬に、9月咲きの定植は平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。生育については8月咲きの草丈が平年並からやや短い状況です。

病害虫は、苗からの持ち込みによる白さび病、アブラム類、アザミウマ類の発生が散見されますが、被害の拡大は抑えられています。

### 2 リンドウ

生育は草丈は平年並からやや長く、節数は平年並からやや多くなっており、生育は順調です。病害虫では、葉枯病の発生が散見されますが、拡大は抑えられています。リンドウホソハマキ、アザミウマ類、ハダニ類、カメムシ類の発生が増えてきています。

## 【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。一番草は5月中旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は平年並となる見込みです。

飼料用トウモロコシは5月上旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>